

オリジナルチーフリングを作ろう

材料を工夫して、世界で1個しかないオリジナルチーフリングを作ってみましょう。



本ページでは、写真の右側のチーフリングの作り方を説明します。

中央のものは、マグネットの磁石を取り外し、竹を接着したもの、左側のものは木の枝に穴をあけ、台形に切って作りました。

1. 土台を作る。



木の枝(太さ3cm程度のもの)を準備します。基本的には木の枝の輪切りですが、斜めにカットすると面積が大きくなり、いろいろと使い勝手がいいです。まず、断面にサンドペーパーをかけてツルツルに仕上げましょう。

(切ってしまってからだとペーパーをかけにくいので。尚、ペーパーは60番から120番くらいの粗いもので十分です。)次にノコギリで輪切りにします。作者は剪定用の目の粗いノコを使っています。

木の種類は何でもいいですが、ウルシのようなかぶれるものは不可ですね。(常識だって！)

また、松や杉のようにヤニが出るのもよろしくないと思います。作者はケヤキを愛用しています。理由は入手しやすい(公園などで枯れ枝が落ちている)ことと、磨くと木目(年輪)がきれいに出来るためです。サクラは皮が剥がれやすいのであまりよくありませんでした。

2. 輪切りした板に文字を貼り付ける。



アルファベットパスタ（有名デパートなどにあります）を木工ボンドで貼り付けます。文章はお好きにどうぞ。文字はまっすぐだけでなく、曲面に沿わせたりして工夫して下さい。文字を貼る場合は、スペルの中央の文字から貼り始めるとバランスよくできます。

アルファベットパスタは、「アルボ・ゴールド エーワンパスタ」という銘柄です。最近売っているのはアルファベットだけで、数字が入っていないので、年号とか入れられなくて困っています。昔買ったものには入っていたのですが（ ^^ ； ）この他、American Beauty の LETRAS ALPHABETS や無印良品のアルファベットパスタ（色付き）があるようです。

3. ボンドが乾いたら、好みに応じて油性ペンで着色してもいいでしょう。

文字面の裏側に竹の輪切りを接着すればチーフリングの形になります。竹は内径が13mmくらいがゆるすぎず、きつすぎずで丁度いいようです。竹のチーフを通す部分は面取りをすればスムーズな装着ができます。

4. パスタは脆いので、保護のためにもニス塗りすることをお奨めします。スプレーニスで最低3回は塗り重ねたいものです。

5. その他のチーフリングの紹介



チョコエッグ®でチーリンを作ってみました。右はマムシです。上記の土台に貼り付けたもの。

左はカメの腹に直接 竹を貼り付けたものです。

平べったいフィギュアがいいなと思うと、爬虫類になりがちで、あったらイヤなチーリンのコレクションになります。皆さんもお一ついかがでしょうか。（^。^）

5. オマケ

上記の土台で裏に安全ピンを付ければバッジ(まぎれもないウッドバッジですね)が出来ます。

安全ピンは普通のものを使い、ベニヤ板(V溝を彫って、安全ピンを収める)で接着すると接着面積が広いので頑丈にできます。(市販の貼り付けタイプの安全ピンは取れやすくてお奨めしません。)



細い枝の輪切りでバッジを作り、ビー・パル誌のオマケシールを貼ってみました。

ビーバー、カブのご褒美グッズにいかがでしょう。

こんなのもあります。(チマタで噂のミニカブキャップ。エエやろ～♪)

(ベニヤ板で安全ピンを付けた様子)